

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	尚絅大学短期大学部
設置者名	学校法人尚絅学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
短期大学部	総合生活学科		1	0	6	7	7	
	食物栄養学科				6	7	7	
	幼児教育学科				6	7	7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本学ウェブサイトにおいて公表
 (URL : <https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/disclosure>)
 (URL : <https://gakumu.shokei-gakuen.ac.jp/>)
 ※ゲストユーザーからログインし、添付書類の「実務経験のある教員一覧」を参照しながらシラバスを検索してください。

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	尚絅大学短期大学部
設置者名	学校法人尚絅学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本学 Web サイトにて公表
<https://www.shokei-gakuen.ac.jp/outline/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	株式会社役員	2022. 4. 1～ 2026. 3. 31	法人業務の総理
非常勤	株式会社役員	2019. 7. 12～ 2023. 7. 11	経営者として広く社会的知見の活かした経営計画策定への参画、組織運営体制へのチェック機能
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	尚綱大学短期大学部
設置者名	学校法人尚綱学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>■尚綱大学・尚綱大学短期大学部授業計画作成ガイドライン (URL : https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/disclosure/)</p> <p>■各学部の授業科目一覧 (URL : https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/disclosure/)</p> <p>■各学部の授業科目のシラバス一覧 尚綱大学・尚綱大学短期大学部教務システム (URL : https://gakumu.shokei-gakuen.ac.jp/) (ゲストユーザーからログインし検索)</p> <p>■授業履修の手引き COMPASS (初年次教育テキスト) (URL : https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/disclosure/)</p> <p>■概要 授業計画書(シラバス)は、例年 11 月頃に全学委員会である教務連絡協議会において、次年度のシラバスの作成・点検期間を決定している。12 月に授業担当教員を対象にシラバスの作成・注意点等について説明し、翌年 1 月下旬まで授業担当教員によるシラバス初校データ作成の後、シラバス点検委員の点検を受け、4 月 1 日に公表している。</p> <p>授業概要(シラバス)は、教務システム(ユニバーサルパスポート)において、学生が履修する上で必要な事項、具体的には、事前・事後学修、成績評価方法、成績評価の割合(例:定期試験 50%、レポート提出 30%、小テスト 20%)、実務経験のある教員などを記載している。また、学修への意欲を試験やレポート等で把握し、学修成果の厳格かつ適正な評価に基づき、単位を与えることとしている。</p> <p>授業計画作成ガイドライン及び履修の手引き等は大学ウェブサイトにて公表し、教務システム(ユニバーサルパスポート)を通してシラバスを公開している。 なお、実務教員による授業科目については、上記の本学教務システムにおいて、実務経験のある教員一覧を参照できる。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>本学 Web サイトにおいて公表。 https://gakumu.shokei-gakuen.ac.jp ※ゲストユーザーからログインし、シラバスを検索してください。</p>

<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>■概要</p> <p>尚綱大学短期大学部学則第 12 条第 1 項に定められた単位の計算方法により各授業科目の単位数を決定し、且つ尚綱大学短期大学部学則第 23 条及び第 29 条に基づき、単位・卒業の認定を行う。</p> <p>本学では単位の認定を行うにあたり、各教員に対してその授業を学ぶ「意味・意義」を意識させたシラバスの作成を求め、またその授業科目がディプロマ・ポリシー（学位授与方針）とどのように関連しているかを明示するよう求める。</p> <p>具体的には「授業概要」「キーワード」「課題と評価の方法」「事前・事後学修の内容と目安」など記載し、入学した学部・学科の教育課程の授業を履修し、各授業科目に定めている「到達目標」を達成し、学力試験及び受講状況その他により認定の上、合格した者に単位を認定するものとする。</p> <p>最終的に2年以上在学し、所定の授業を履修した上で、62 単位以上の単位を修得した者について学年又は学期の終わりに教授会の議を経て、学長が卒業を認定とする。</p> <p>(根拠学則)</p> <p>尚綱大学短期大学部学則第 12 条第 1 項、同第 23 条、同第 29 条</p>	
<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>■G P Aの算定について</p> <p>尚綱大学短期大学部におけるグレード・ポイント・アベレージ (GPA) 制度に関する規程 (URL : https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/disclosure/)</p> <p>■G P Aの種類及び算出方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・G P Aは、学期G P A、通算G P Aに区分する。 ・G P Aは以下の式により計算するものとし、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位を表示させるものとする。 ・総履修登録単位数は、G P A算出対象の授業科目の合計履修登録単位数とする。 <p>G P A =</p> $\frac{(\text{秀} 4 \times \text{修得単位数}) + (\text{優} 3 \times \text{修得単位数}) + (\text{良} 2 \times \text{修得単位数}) + (\text{可} 1 \times \text{修得単位数})}{\text{総履修登録単位数}}$ <p>■概要</p> <p>本学では学生の成績の客観的な指標として、G P A (グレード・ポイント・アベレージ) を採用している。その上で、学生の相対的な成績状況を把握している。また、学生の成績を各学科の専任教員等に情報を共有し、履修指導や各種奨学金等に関することなど、学生指導への活用などを行っている。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>本学 Web サイトにおいて公表。 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/disclosure/</p>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

■大学のディプロマ・ポリシー

尚綱大学短期大学部ディプロマ・ポリシー

https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/diploma_policy?id=ad03

■概要

各学科においてディプロマ・ポリシー（学位授与方針）を定めており、2年間においてそれらの資質・能力を満たすために、カリキュラムの中にある授業科目を履修することで、学位が授与される。また、尚綱大学短期大学部学則において卒業認定に関する事項が記載されているが、卒業に必要な最低単位数や卒業要件（卒業資格）は、各学科の履修規程において記載されている。

各学科の卒業要件（卒業資格）に達した学生は、学年又は学期の終わりに、教授会の議を経て、学長が卒業を認定することになっており、その卒業認定の結果については、学内の掲示板への掲示等により学生に通知することになっている。

参考：

尚綱大学短期大学部（学則）第29条

短期大学部履修規程第4条

卒業の認定に関する
方針の公表方法

本学 Web サイトにおいて公表。

https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/diploma_policy

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	尚絅大学短期大学部
設置者名	学校法人尚絅学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本学 Web サイトにおいて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/gakuen/R03.pdf
収支計算書又は損益計算書	本学 Web サイトにおいて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/gakuen/R03.pdf
財産目録	本学 Web サイトにおいて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/gakuen/R03.pdf
事業報告書	本学 Web サイトにおいて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/gakuen/R03.pdf
監事による監査報告(書)	本学 Web サイトにおいて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/gakuen/R03.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:令和4年度学校法人尚絅学園事業計画書 対象年度:令和4年度)
公表方法:本学 Web サイトにおいて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/gakuen/r4_jigyokeikaku.pdf
中長期計画(名称:尚絅学園の長期ビジョン(将来像)と中長期行動計画~SEI2013-2022~ 対象年度:平成25年~令和4年)
公表方法:本学 Web サイトにおいて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/gakuen/vision_2021.pdf

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:本学 Web サイトにて公表。 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/daigakuhyoka

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:本学 Web サイトにて公表。 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/daigakuhyoka

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 総合生活学科
教育研究上の目的 (公表方法: 本学 Web サイトにて公表) https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline
(概要) 総合生活学科は、情報・福祉・衣食住などを基礎総合的に学び、現代生活への理解を深め、より良い家庭や地域を創造する能力と実践的技能を身に付けた人材を育成することを目的とする。(尚絅大学短期大学部学則第 4 条)
卒業の認定に関する方針 (公表方法: 本学 Web サイトにて公表) https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/diploma_policy?id=ad03
(概要) 総合生活学科は、建学の精神のもと、講義、演習、実技及び実験・実習を通して以下の素養・能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、「短期大学士(生活学)」の学位を授与します。 (1)文化・社会や自然に関する知識を体系的に理解するとともに、主体的な学びを通して豊かな人間性を培い、良識のある社会人として教養や態度を身につけている。 (2)生活に関する情報、福祉・健康、アパレル・インテリアの領域において専門的知識・実践的技能を身につけ、実生活に活かし役立てることができる。 (3)自らの倫理観・職業観を確立し、現代社会の諸問題に対して主体的に考え、行動することができる。 (4)様々な手法による情報活用能力を身につけ、様々な人々とコミュニケーションをとりながら、自らの意見を適切に表現し、良好な人間関係を発展させることができる。 (5)多様な立場の人々を理解するとともに協力し合い、地域社会に貢献することができる。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法: 本学 Web サイトにて公表) https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/curriculum_policy?id=ad03
(概要) 総合生活学科は、学則に掲げる目的及び使命に基づき、ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)に定める素養・能力の修得させるために、以下のような方針でカリキュラムを編成します。 (1)基礎的能力及び幅広く深い教養を身につける教養科目と、専門の学芸を身につける専門教育科目によりカリキュラムを編成します。 (2)教養科目は、大学教育を受けるために必要な学力と社会人として求められる汎用的能力を養うために、「教養基礎」「外国語」「人間と社会」「自然と生命」の 4 領域により編成します。 (3)初年次に基礎的素養を身につけるための授業科目を置き、その上に専門的知識と技能を積み上げられるよう授業科目を系統的に配置します。 (4)専門教育科目は、キャリア教育を含め、ビジネス社会に必要な知識・技術を身につける「医療事務・情報ビジネス」、福祉現場等で必要な知識・技術を身につける「福祉ウェルネス」、ファッション・インテリア業界等で求められる知識・技術を習得する「生活デザイン」の 3 つの領域に区分します。これらの 3 つの領域の専門知識を習得するとともに技術を身につけるため、講義の他に演習や実習科目を配置します。 (5)実践力及び応用力を伸ばすために「インターンシップ」「卒業演習」「女性と社会」

「ボランティア実習」等の科目を配置します。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学 Web サイトにて公表）

https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/admission_policy?id=ad03

（概要）

総合生活学科は、質の高い家庭・社会生活の創造に関心を持ち、地域社会で活躍したい次のような学生を求めます。

(1) 情報・福祉・衣食住に関連した専門的知識・実践的スキルを主体的に身につけ、実生活に活かす意欲がある人

(2) 現代社会の諸問題に対して、自らの倫理観・職業観を踏まえて適切に意見を表現しようとする人

(3) 多様な立場の人々とコミュニケーションをとりながら理解・協力し合い、地域社会に貢献できる人

入学を希望する人には、高等学校等において、基礎学力を習得し、多様な活動を通じて豊かな表現力を身につけていることを望みます。これらに関する能力は、入学後の講義、演習、実習等の通じて様々な分野で主体的に協働できる能力を身につけるために必要となります。

入学者の選抜方法として、一般入試、大学入試センター試験利用入試、推薦入試、自己推薦入試、A0 入試、社会人入試及び外国人留学生入試を採用し、上記のような能力や素質を多面的・総合的に評価します。

・一般入試では、国語、英語、生物基礎科から 1 教科 1 科目の筆記試験において基礎学力及び思考力・判断力・表現力を総合的に評価し選抜します。

・大学入試センター試験利用入試では、1 教科 1 科目から基礎学力及び、思考力・判断力を総合的に評価し選抜します。

・推薦入試では、小論文において思考力・判断力・表現力、調査書や面接において基礎学力・技能と共に主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ能力を総合的に評価し選抜します。

・自己推薦入試では、自己推薦において基礎学力及び思考力・判断力・表現力・技能、調査書や面接において基礎学力・技能と共に主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ能力を総合的に評価し選抜します。

・A0 入試では、授業体験において思考力・判断力・表現力、面接とエントリーシートにおいて基礎学力・技能と共に主体的にかつ多様な人々と協働して学ぶ態度を総合的に評価し選抜します。

・社会人入試では、2 年以上の社会人経験を有する方を対象にして、小論文と面接において、その経験に基づく基礎学力と思考力・判断力・表現力及び主体的に協働できる能力を総合的に評価し選抜します。

・外国人留学生入試では、作文において基礎的な日本語に文章能力を、面接において日本語の会話能力、日本で学習する意欲などを総合的に評価します。

学部等名 食物栄養学科

教育研究上の目的（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表）

<https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline>

（概要）

食物栄養学科は、食を通じて人の健康づくりに貢献できる栄養士を育成するため、専門分野の講義、実験・実習により栄養士養成課程としての基礎及び応用理論を学び、幅広い知識・技術・能力を身につけた実践力のある人材の養成を目的とする。（尚絅大学短期大学部学則第 4 条）

<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：本学 Web サイトにて公表） https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/diploma_policy?id=ad=04</p> <p>（概要） 食物栄養学科は、建学の精神のもと、講義、演習、実技および実験・実習を通して以下の素養・能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、「短期大学士（食物栄養）」の学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 文化・社会や自然・生命に関する広い知識を身につけている。 (2) 食物、栄養および健康に関する深い専門知識を身につけている。 (3) 食物、栄養および健康に関する諸問題に対して興味・関心を持ち、自ら分析・解決するための思考・判断力を持っている。 (4) 食を通じて人々の健康の増進・疾病の予防に貢献するための実践的スキルを身につけている。 (5) 多様化する社会の要求に柔軟に対応するための豊かな表現力とコミュニケーション力を身につけている。 (6) 知識を基にさまざまな思考様式や価値を理解し、知を高める主体的な意欲・態度を身につけている。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表） https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/curriculum_policy?id=ad04</p> <p>（概要） 食物栄養学科は、学則に掲げる目的及び使命に基づきディプロマ・ポリシー（学位授与方針）に定める素養・能力を修得させるために、以下のような方針でカリキュラムを編成します。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 基礎的能力及び幅広く深い教養を身につける教養科目と、専門の学芸を身につける専門教育科目によりカリキュラムを編成します。 (2) 教養科目は、大学教育を受けるために必要な学力と社会人として求められる汎用的能力を養うために、「教養基礎」「外国語」「人間と社会」「自然と生命」の4領域により編成します。 (3) 初年次に基礎的素養を身につけるための授業科目を置き、その上に専門的知識と技能を積み上げられるよう授業科目を系統的に配置します。 (4) 栄養士法施行規則に基づき、専門教育科目を「社会生活と健康」「人体の構造と機能」「食品と衛生」「栄養と健康」「栄養の指導」および「給食の運営」の6領域に区分します。さらに、質の高い栄養士の育成を目的として「その他関連項目」を配置します。 (5) 専門教育科目のうち、栄養学的専門知識とその理論を取得する上で必須と位置付けられる科目を必修科目とします。さらに、選択科目の中でも特に栄養士業務を遂行する上で習得が必須となる科目を「栄養士免許必修科目」として配置します。栄養士免許必修科目は卒業要件とはならないが、栄養士免許取得には必須となる科目です。 (6) 専門教育科目の中に、栄養学の理論と知識を基礎とし、さらに栄養士としての実践的能力および技術を身につけるための実験・実習科目を設置します。具体的な到達目標は、「食品、調理素材の特性と地域性を活かした献立作成能力と調理技術の習得」「疾病の予防と治療のための食事療法の理解と実践能力の育成」「成長期の子どもから高齢者までのライフステージ別の特徴に応じた栄養管理法の取得」および「大量調理における衛生管理や対象者の嗜好に配慮した給食の運営方法の取得」です。また、2年次には実践活動の場として3箇所（学校・保育所、事業所および病院）での校外実習を行います。これらの専門教育科目は学生の能動的学修の充実を図るものであり、同時にキャリア教育の一環としても位置づけます。
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表） https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/admission_policy?id=ad04</p>

(概要)

食物栄養学科は、高い倫理観に加えて高度な知識と技術を身につけ、実践力を有する栄養士として健康を食の面から支え社会に役立ちたいと思っている次のような学生を求めます。

- (1) 高等学校卒業程度の基礎学力を有している人
- (2) 人の健康づくりに興味があり、基本から主体的かつ体系的に学んで栄養士になりたいと思う人
- (3) 次世代を担う成長期の子どもを対象に食育の推進に貢献したい人
- (4) 疾病の予防と治療のための食事療法について学び、その知識・技術や課題解決のための思考力・判断力を社会で生かして活躍したいと考えている人
- (5) 高齢者をはじめとする福祉の分野で食を通して生活の質の向上を支援したい人
- (6) 食物・栄養・健康に関する幅広い知識・技術や課題解決のため思考力・判断力を家庭や地域社会の健康管理のために役立てたいと思う人

入学を希望する人には、高等学校等において、栄養学の基礎となる生物学や化学などの理数系科目の基礎知識と思考力を習得し、また、他者とのコミュニケーションを円滑に行うために国語や英語などの基礎学力を身につけていることを望みます。これらの学力は、入学後の授業等において専門性の高い問題に対する自己解決力の基礎となるのは勿論、他の学生と協働して様々な問題を探求・解決するための能力を育成するためにも必要となります。

入学者の選抜方法として、一般入試、大学入試センター試験利用入試、推薦入試、自己推薦入試、A0 入試、社会人入試及び外国人留学生入試を採用し、上記のような能力や資質を多面的・総合的に評価します。

・一般入試では、国語、英語、生物基礎から1教科1科目筆記試験において基礎学力及び思考力・判断力・表現力を総合的に評価し選抜します。

・大学入試センター試験利用入試では、国語、英語、理科から1教科1科目により基礎学力及び思考力・判断力を総合的に評価し選抜します。

・推薦入試では、小論文において思考力・判断力・表現力、調査書や面接において基礎学力・技能と共に主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ能力を総合的に評価し選抜します。

・自己推薦入試では、自己推薦書において基礎学力及び思考力・判断力・表現力・技能、調査書や面接において基礎学力・技能と共に主体的にかつ多様な人々と協働して学ぶ態度を総合的に評価し選抜します。

・A0 入試では、授業体験において思考力・判断力・表現力、面談とエントリーシートにおいて基礎学力・技能と共に主体的にかつ多様な人々と協働して学ぶ態度を総合的に評価し選抜します。

・社会人入試では、社会人経験を2年以上有している方を対象にして、小論文と面接において社会人としての実績や経験に基づく基礎学力、思考力・判断力・表現力や主体的に協働できる能力を総合的に評価し選抜します。

・外国人留学生入試では、作文においての基礎的な日本語の文章能力、面接においての日本語の会話能力、日本で学習する意欲などを総合的に評価します。

学部等名 幼児教育学科

教育研究上の目的 (公表方法: 本学 Web サイトにおいて公表)

<https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline>

(概要)

幼児教育学科は、子どもの心、遊び、発達、健康などについて基礎的総合的な理解を深め、健やかな生活、遊びを導く実践的な保育者の技量を養い、子どもに信頼され慕われる人間性豊かな幼稚園教諭・保育士・保育教諭を養成し、地域社会の保育の発展に寄与することを目的とする。(尚綱大学短期大学部学則第4条)

<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表） https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/diploma_policy?id=ad05</p> <p>（概要） 幼児教育学科は、建学の精神のもと、講義、演習、実技および実験・実習を通して以下の素養・能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、「短期大学士（幼児教育学）」の学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 保育・教育に関する基本的な理解ができている。 (2) 子どもの権利、福祉についての見識、問題意識が備わっている。 (3) 子どもの成長、発達、健康、保健、食などについて、生活や活動を発展・充実させるための総合的な理解ができている。 (4) 子どもの表現や遊び、生活・活動等を豊かにする保育・教育の実践的な技量が備わっている。 (5) 子どもの発達や子どもを取り巻く環境などを理解し、適切に対応しようとする態度が備わっている。 (6) 保育についての実践と省察を重ね、保育者としての資質・能力が備わっている。 (7) 保育の世界や地域社会に関わる態度と意欲が備わっている。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表） https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/curriculum_policy?id=ad05</p> <p>（概要） 幼児教育学科は、学則に掲げる目的及び使命に基づき、ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）に定める素養・能力を修得させるために、以下のような方針でカリキュラムを編成します。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 基礎的能力及び幅広く深い教養を身に付ける教養科目と、専門の学芸を身に付ける専門教育科目によりカリキュラムを編成します。 (2) 教養科目は、大学教育を受けるために必要な学力と社会人として求められる汎用的能力を養うために、「教養基礎」「外国語」「人間と社会」「自然と生命」の4領域により編成します。 (3) 初年次に基礎的素養を身に付けるための授業科目を置き、その上に専門的知識と技能を積み上げられるよう授業科目を系統的に配置します。 (4) 専門教育科目では、教職に関する法令及び「指定保育士養成施設の指定及び運営に関する基準」に基づき、幼稚園教諭二種免許状及び保育士資格の取得を目指し、必要とされる知識・技能を、各分野において基礎から系統的に深めるとともに、保育実習や教育実習での実践とも関連づけて学ぶことができるように科目を配置します。 (5) 個性ある保育者を養成するために、保育に必要とされる各領域の専門性を高める選択科目を配置します。また各自が特に専門領域について学びを深めるための必修科目として小グループのゼミ形式で行われる専門研究を配置します。 (6) 保育者としての知識・技能を深め、理論と実践の融合を図るため、附属こども園及び学外の認定こども園、幼稚園、保育所、児童福祉施設等での実習を、法令等に基づき、適切な時期に配置します。 (7) 2年次後期には、2年間の学修成果を統合するとともに、各自が履修カルテにより学修状況を振り返り、幼稚園教諭二種免許状及び保育士資格を取得するにあたっての長所を確認し、課題を克服することができるよう「保育・教職実践演習」を配置します。
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表） https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/admission_policy?id=ad05</p> <p>（概要） 幼児教育学科は、子どもに寄り添い、子どもの成長、発達を豊かに育むことのできる確かな知識と実践力を有する保育者の育成を旨としています。そのために子どもの世界に関</p>

心と意欲を持つ次のような学生を求めます。

- (1)子どもの世界（こころ、生活、遊び、健康等）に関心を持ち、そのための理論と技量を身につけたいと考える人
- (2)子どもの権利や福祉に関心を持つ人
- (3)保育職（幼稚園教諭、保育士、保育教諭、施設保育士）に就き、地域社会に貢献したいと考える人
- (4)保育に必要な自己表現やコミュニケーションの能力を身につけたいと考える人

入学を希望する人には、高等学校等において集団的な活動、社会的な活動を通じた主体性・協働性や、コミュニケーション力の基礎を身につけていることを望みます。これらに関する能力は、入学後の講義、演習、実習等において、様々な世代や環境において、他者と協働できる能力を育成するために必要となります。

入学者の選抜方法として、一般選抜、大学入学共通テスト利用型選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜、社会人選抜及び外国人留学生選抜を採用し、上記のような能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価します。

- ・一般選抜では、国語、英語の2教科2科目の記述式試験及び調査書において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。なお、英語について、4技能を測る外部検定試験を利用する場合は、記述式試験を受験又は免除できる選択制とします。また、記述式試験を受験する場合は、外部検定試験の得点と比較し、高得点の方を採用します。
- ・大学入学共通テスト利用型選抜では、国語と国語以外の1教科1科目及び調査書において知識・技能、思考力・判断力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。
- ・学校推薦型選抜では、小論文、調査書、推薦書及び面接において知識・技能、思考力・判断力・表現力、知識・技能と共に主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ能力等を総合的に評価し選抜します。
- ・総合型選抜では、体験授業、面接、自己申告書等及び調査書において知識・技能、思考力・判断力・表現力や主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。
- ・総合型選抜（自己推薦型）では、自己推薦書、面接及び調査書等において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。
- ・社会人選抜では、社会人経験を2年以上有している方を対象にして、小論文及び面接において社会人としての実績や経験に基づく知識・技能、思考力・判断力・表現力や主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。
- ・外国人留学生選抜では、作文及び面接において基礎的な日本語能力及び日本で学習する意欲等を総合的に評価します。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：本学 Web サイトにおいて公表

(URL：<https://www.shokei-gakuen.ac.jp/outline/>)

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
総合生活学科	0人	2人	4人	1人	0人	0人	7人
食物栄養学科	1人	3人	2人	1人	1人	3人	11人 (助手を含む)
幼児教育学科	0人	5人	9人	2人	1人	0人	17人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		70人					70人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：本学 Web サイトにて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/teacher					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
本学 Web サイトにて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/fd							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b、a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d、c	編入学 定員	編入学 者数
総合生活学科	80人	53人	66.3%	160人	113人	70.6%	0人	0人
食物栄養学科	80人	64人	80.0%	160人	137人	85.6%	0人	0人
幼児教育学科	150人	141人	94.0%	300人	296人	98.7%	0人	0人
合計	310人	258人	83.2%	620人	546人	88.1%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
総合生活学科	50人 (100%)	1人 (2.0%)	43人 (86.0%)	6人 (12.0%)
食物栄養学科	72人 (100%)	7人 (9.7%)	58人 (80.6%)	7人 (9.7%)
幼児教育学科	146人 (100%)	0人 (0.0%)	142人 (97.3%)	4人 (2.7%)
合計	268人 (100%)	8人 (3.0%)	243人 (90.7%)	17人 (6.3%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
<総合生活学科> 株式会社エイジェック、いけだ泌尿器科・内科、ココロ発達療育センター、医療法人 長嶺南ファミリー歯科、医療法人よつば会 健軍桜木眼科、医療法人社団岡山会、九州記念				

病院、医療法人社団上野会 熊本博愛病院、医療法人小林会 小林病院、株式会社 SENSTYLE、社会福祉法人ましき苑 花へんろ、社会福祉法人山紫会 特別養護老人ホーム 菊香園、社会福祉法人千理会、社会福祉法人日生会 熊本めぐみの園、石川整形外科 リウマチ科、ペンタ・ロジスティクス株式会社、日本郵便株式会社、パナソニックハウジングソリューションズ株式会社、株式会社BIGMOTOR、株式会社CAN、株式会社サマンサタバサジャパンリミテッド、株式会社サンドラッグ、株式会社ジョンプル、株式会社ヨネザワ、内村酸素株式会社、NPO 法人アイシーティー サポートスクエア、株式会社肥後銀行、ELJ ソーラーコーポレーション株式会社、JAPAN HOME WAND 株式会社、株式会社コスモホーム、工藤建設株式会社、株式会社ポッカクリエイト、阿蘇ハイランド開発株式会社、株式会社 F&B シモカワ、株式会社リアライズ カーブス熊本菊池店、株式会社コスギ不動産、株式会社マエムラ熊本支店、熊本宇城農業協同組合、八代地域農業協同組合

<食物栄養学科>

栄食メディックス株式会社、学校法人中村学園 中村学園事業部、株式会社 LEOC、株式会社プラスワン、淀川食品株式会社、医療法人健生会 明生病院、医療法人桜十字病院、医療法人社団鶴友会 鶴田病院、医療法人社団藤浪会 整形外科井上病院、医療法人社団間端会 間端内科、医療法人小畑会ながみね耳鼻咽喉科クリニック、医療法人信愛会 玉名病院、医療法人仁木会 ニキハーティーホスピタル、医療法人清話会 水前寺とうや病院、球磨郡公立多良木病院企業団（球磨郡多良木病院）、熊本地域医療センター、社会福祉法人 やまなみ会、社会福祉法人 三顧会 力合つくし庵、社会福祉法人 山紫会（特別養護老人ホーム 菊香園）、社会福祉法人 慈愛園 ひかり幼稚園、社会福祉法人 西部福祉会 ゆたか学園、社会福祉法人熊本菊寿会 特別養護老人ホームさわらび、社会福祉法人敬愛福祉会 敬愛保育園、社会福祉法人健成会 特別養護老人ホーム みゆき園、社会福祉法人光福会 雁回まこと保育園、社会福祉法人慈愛園 愛光幼稚園、社会福祉法人小川大空会 大空保育園、社会福祉法人真光会 特別養護老人ホーム三和荘、社会福祉法人聖マリア会 マリア幼愛園、社会福祉法人聖母会 聖母の丘、社会福祉法人東陽福祉会 西合志東保育園、社会福祉法人二見中央福祉会 なかよし保育園、社会福祉法人白日会 たんぽぽ保育園、社会福祉法人福芳会 阿蘇こうのとり保育園、特定医療法人高森会 阿蘇やまなみ病院、八代敬仁病院、有限会社九州松栄産業しょうぶ苑、学校法人竜昇学園 認定こども園 菊池幼稚園、社会福祉法人 森のひろば こぐまこども園、社会福祉法人熊豊会 幼保連携型認定こども園 きよめこども園、社会福祉法人三澄会 幼保連携型認定こども園くほんじこども園、社会福祉法人秋桜会 幼保連携型認定こども園ふわわ、幼保連携型認定こども園 白川幼稚園、和食処ふーふ、日豊食品工業株式会社

<幼児教育学科>

熊本マタニティサービス株式会社（福田病院院内保育園コアラ保育園）、ヴェゼルワークス株式会社、こころ株式会社おやまひよこ保育園、一般社団法人みもら颯空、一般社団法人志誠会児童発達支援センターGIFT、学校法人亀之森住吉学園、学校法人筑風学園唐人町あけぼの保育園、株式会社エムケイ・コーポレーション東部保育園、株式会社セリオトレジャーキッズふれあい緑地保育園、株式会社マーブル企業主導型保育園マーブル保育園、合同会社GYM-ART リトルジェム、児童養護施設菊水学園、社会医療法人愛育会福田病院、社会福祉法人あけぼの保育園、社会福祉法人かしま福祉会嘉島保育園、社会福祉法人からたち福祉会からたち保育園、社会福祉法人こころ保育園こころ、社会福祉法人すみれ福祉会カトリア保育園、社会福祉法人ダーナ福祉会ダーナ保育園、社会福祉法人ヒカリ福祉会須川保育園、社会福祉法人ひろやす会ひろやす保育園、社会福祉法人まどか会、社会福祉法人ゆたか福祉会広崎保育園、社会福祉法人愛隣園、社会福祉法人愛和学院さくら保育園、社会福祉法人愛和学院元気の森ラビット保育園、社会福祉法人愛和学院光の森キャロット保育園、社会福祉法人加茂川保育園磐保育園、社会福祉法人喜育園喜育こども園、社会福祉法人菊豊会菊池第2さくら幼楽園、社会福祉法人菊陽会もみじ園、社会福祉法人菊陽会

三里木保育園、社会福祉法人鏡寿会鏡しらぬい保育園、社会福祉法人玉成会新星保育園、社会福祉法人熊本市社会福祉協会熊本乳児院、社会福祉法人啓世会天領保育園、社会福祉法人敬愛福祉会大野保育園、社会福祉法人健児福祉会宇土ありあけ保育園、社会福祉法人御陽会ヴィラささゆ、社会福祉法人光進会第二よろこび保育園、社会福祉法人光嶺福祉会光嶺保育園、社会福祉法人江南福祉会海士江保育園、社会福祉法人合志福祉会さくらんぼ保育園、社会福祉法人山北保育園、社会福祉法人慈愛園 愛光幼児園、社会福祉法人純心会空港保育園、社会福祉法人小川大空会 大空保育園、社会福祉法人小楠福祉会熊本の出保育園、社会福祉法人昭登福祉会栗の実保育園、社会福祉法人松橋福祉会当尾保育園、社会福祉法人松風会明星保育園、社会福祉法人上ノ郷福祉会上ノ郷保育園、社会福祉法人新明福祉会新明保育園、社会福祉法人水前寺福祉会水前寺保育園、社会福祉法人水俣福祉会水俣保育園、社会福祉法人西花畑会こひつじ保育園、社会福祉法人青豊会佐伊津保育園、社会福祉法人専立寺福祉会専立寺こども園、社会福祉法人速證会宇土エンゼル保育園、社会福祉法人太田郷福祉会八代ひまわり保育園、社会福祉法人岱明憲章会高道保育園、社会福祉法人大光保育園、社会福祉法人地の塩福祉会小羊保育園、社会福祉法人南風福祉会西合志南保育園、社会福祉法人楠福祉会くすのき保育園、社会福祉法人二見中央福祉会 なかよし保育園、社会福祉法人日吉福祉会日吉保育園、社会福祉法人白日会 たんぼぼ保育園、社会福祉法人白浜福祉会しろはと保育園、社会福祉法人白羊福祉会白羊保育園、社会福祉法人福郷会白鈴保育園、社会福祉法人木葉昭和児童園、社会福祉法人柳翔会出水南保育園、社会福祉法人茉音の花はなえみ保育園、小規模保育事業おひさま保育園、ロイヤルスタジオ、学校法人みゆき学園幼保連携型認定こども園恵水幼稚園、学校法人リズム学園認定こども園リズム幼稚園、学校法人愛和学苑認定こども園美鈴幼稚園、学校法人愛和学苑幼保連携型認定こども園西部音楽幼稚園、学校法人井島学園第2 さくら体育幼稚園、学校法人加寿美学園坪井幼稚園、学校法人開新学園幼保連携型認定こども園ながみねこども園、学校法人関学園大野東幼稚園、学校法人九州音楽学園九州音楽幼稚園、学校法人尚絅学園尚絅大学短期大学部附属こども園、学校法人松橋学園認定こども園松橋幼稚園、学校法人浄国学園高平幼稚園、学校法人双羽学園双羽幼稚園、学校法人第一学園、学校法人中九州第二学園幼保連携型認定こども園帯山のぎくこども園、学校法人天神学園幼保連携型認定こども園くるみ幼稚園、学校法人田原坂学園植木中央幼稚園、学校法人桃光学園認定こども園あげぼの幼稚園、学校法人白百合学園八代白百合学園幼稚園、学校法人北部学園幼保連携型認定こども園ほくぶ幼稚園、学校法人有明中央学園認定こども園南関ひまわり幼稚園、社会福祉法人たつだ福祉会たつだ保育園、社会福祉法人加登住福祉会あいだこども園、社会福祉法人喜育園山東こども園、社会福祉法人熊豊会 幼保連携型認定こども園きよめこども園、社会福祉法人江津福祉会幼保連携型認定こども園なぎさこども園、社会福祉法人山清福祉会やまなみ、社会福祉法人山清福祉会五丁こども園、社会福祉法人真愛福祉会愛保育園、社会福祉法人誠友会誠櫻幼愛園、社会福祉法人二岡福祉会二岡保育園、社会福祉法人靖共会幼保連携型認定こども園ひでみ保育園、社会福祉法人力合福祉会幼保連携型認定こども園力合さくらこども園、社会福祉法人六華保育園、幼保連携型認定こども園六華こども園、益城町立第四育所、熊本市役所（保育士）、八代市役所（保育士）

(備考)

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
総合生活学科	52人 (100%)	49人 (94.2%)	0人 (0%)	2人 (3.9%)	1人 (1.9%)
食物栄養学科	77人 (100%)	71人 (92.2%)	2人 (2.6%)	3人 (3.9%)	1人 (1.3%)
幼児教育学科	163人 (100%)	146人 (89.6%)	6人 (3.7%)	11人 (6.7%)	0人 (0%)
合計	292人 (100%)	266人 (91.1%)	8人 (2.7%)	16人 (5.5%)	2人 (0.7%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>尚綱大学授業計画作成手引き (URL : https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/disclosure)</p> <p>各学部の授業科目のシラバス一覧 https://gakumu.shokei-gakuen.ac.jp/ (ゲストユーザーからログイン)</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>尚綱大学短期大学部学則第 12 条第 1 項に定められた単位の計算方法により各授業科目の単位数を決定し、且つ尚綱大学短期大学部学則第 23 条及び第 29 条に基づき、単位・卒業の認定を行う。本学では単位の認定を行うにあたり、各教員に対してその授業を学ぶ「意味・意義」を意識させたシラバスの作成を求め、またその授業科目がディプロマ・ポリシー（学位授与方針）とどのように関与しているかを明示するよう求める。</p> <p>具体的には「授業概要」「キーワード」「事前・事後学修」「課題と評価の方法」など記載し、入学した学部・学科の教育課程の授業を履修し、各授業科目に定めている「到達目標」を達成し、学力試験及び受講状況その他により認定の上、合格した者に単位を認定するものとする。</p> <p>最終的に 2 年以上在学し、所定の授業を履修した上で、62 単位以上の単位を修得した者について学年又は学期の終わりに教授会の議を経て、学長が卒業を認定とする。</p> <p>(根拠学則)</p> <p>尚綱大学短期大学部学則第 12 条第 1 項、同第 23 条、同第 29 条</p> <p>『GPA の算定について』 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/disclosure</p> <p>尚綱大学短期大学部ディプロマ・ポリシー https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/diploma_policy</p>

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
短期大学部	総合生活学科	62 単位	㊟・無	56 単位
	食物栄養学科	62 単位	㊟・無	56 単位
	幼児教育学科	62 単位	㊟・無	56 単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法 :		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法 :		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法 : 本学 Web サイトにて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/campus-life/kuhonji (九品寺) https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/campus-life/musashi (武蔵ヶ丘)
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
短期大学部	総合生活学科	670,000 円	220,000 円	260,000 円	施設設備費・休学納付金
	食物栄養学科	670,000 円	220,000 円	310,000 円	
	幼児教育学科	670,000 円	220,000 円	260,000 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>学修支援センター (URL : https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/campus-life/gakusyu/)</p> <p>平成 29 年 4 月に学修支援センターを設置し、授業についていけない、学修の方法が分からない、レポートの書き方が分からない、就職試験の一般教養に自信がない、編入学のための準備の仕方が分からない等々の悩みや不安に寄り添い、日々の学修活動がスムーズにいくように支援している。</p> <p>具体的には、高校までの学習内容の復習や授業内容の補習の他、個別の学習・履修相談、資格取得等の幅広い相談にも応え、九品寺及び武蔵ヶ丘両キャンパスで数学または英語のサポート教科を開講している。また、九品寺キャンパスにおいては管理栄養士の国家試験合格が求められる生活科学部の学生を中心に生物・化学の学習支援のほか、国際交流協定校での語学留学に向けた英語、中国語、韓国語のスキルアップや諸外国の海外事情等のレクチャーを行うなどの支援を行っている。</p> <p>このほか、学修相談、履修相談を両キャンパス教務課で行い、スムーズな履修登録が行えるよう指導している。</p> <p>学修環境について、九品寺キャンパスでは大学図書館のグループ学習室、武蔵ヶ丘キャンパスでは短大棟に学習室を設け、サポートを行う教科を開講し、学生の自習等に利用できるよう整備されている。</p>
--

<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>就職・進路支援センター (URL : https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/career/) 就職・進路支援センターでは、学生の多様なニーズに対応し、希望の就職・進路の実現をサポートしており、①個別支援 (履歴書・エントリーシート対策、キャリアカウンセリング、模擬面接) ②就職支援・資格取得支援 (就職対策講座、簿記検定対策講座) ③就職支援プログラム (インターンシップ、経営者による講演、会社説明会、企業研究会) ④キャリアガイダンス (専門家や社会人による講演、合同会社説明会兼企業研究会、模擬面接、グループディスカッション、メイク・マナー講座、社会人への準備支援セミナー) など希望の就職・進路の実現ができるようバックアップの体制を整えている。学生の希望をしっかりと聞き取り、本人に寄り添いながら人生設計を踏まえ将来のビジョンを共に考えるなど、最適な就職・進路の選択や決定ができるよう支援を行い、夢や希望を実現させるための充実した就職支援体制を整えている。</p>
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>九品寺キャンパス及び武蔵ヶ丘キャンパスに学生支援課を置き、学生生活に関すること全般にわたり支援を行っている。特に学生の心身の健康等に係る支援に関する取組みについては、以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各キャンパスにおいて年1回 (4月) に健康診断を実施し、学生の健康状態を把握する。 ・各キャンパスにおいて、保健室 (養護教諭を置く) を設置し、学生の心身の相談・緊急時の対応を行う。 ・各キャンパスにおいてカウンセラー室を設置し、週1回 (武蔵ヶ丘キャンパスは隔週1回) のカウンセラーによる相談を受け付ける。 ・各キャンパスにおいてカウンセラー室を設置し、隔週1回のキャンパスソーシャルワーカーによる相談を受け付ける。 <p>これらについては、学生の健康状態、心身の相談状況等を学生支援課、保健室、カウンセラー、キャンパスソーシャルワーカーで連携し、学生の状況について改善を図るよう努めている。</p> <p>このほか、新入生に対し「学生支援講座」を開講し、学生に対し「薬物乱用防止」、「こころの健康」、「女性の健康」の講話を受講させ、心身の健康に係る支援を行っている。また、全学生に対しては「疲労蓄積度調査」を実施し、健康面で気になる学生には声掛けし必要な対応や支援を行うことを予定している。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

<p>公表方法：本学 Web サイトにて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/disclosure</p>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F243310111389
学校名	尚綱大学短期大学部
設置者名	学校法人尚綱学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		103人	94人	106人
内 訳	第Ⅰ区分	59人	65人	
	第Ⅱ区分	27人	12人	
	第Ⅲ区分	17人	17人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				
（備考）				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)		0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況		0人	0人
「警告」の区分に連続して該当		-	-
計		-	-
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）				
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	-
3月以上の停学	0人
年間計	-
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)		-	0人
G P A等が下位4分の1		23人	-
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況		-	-
計		23人	-
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。